

腎移植外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	抗体関連型拒絶反応を発症した移植腎に集簇するマクロファージの表現型解析
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇 学
研究責任者	外科学講座(腎移植外科) 准教授(特任) 安次嶺 聡
研究の対象となる方	2012 年 1 月から 2023 年 12 月までに愛知医科大学病院で生体腎移植を受けた 18 歳以上の方
研究期間	研究実施承認日 ～ 2028 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 本研究の目的は、拒絶反応を起こした移植腎の組織に存在するマクロファージ(免疫細胞)の特徴(拒絶反応を起こしていない移植腎と異なる可能性がある)を病理学的に解明し、新たな治療法の確立を目指すことです。 〔利用方法〕 本研究では、既存試料・情報を用います。 〔外部への試料・情報の提供〕 試料・情報は個人が特定できないようにし、記録媒体、郵送等により共同研究機関へ提供します。 〔外部への提供開始日〕 研究実施承認後
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：診療時に採取した血液と腎生検時に採取した組織の残余を使用します(本研究のために新たに採取することはありません)。 ・血液は、1 回あたり 0.05ml を研究期間中最大 10 回 ・組織は、1 回あたり 1 切片を研究期間中最大 10 回 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、血液・尿検査結果、ドナー情報(年齢、性別、レシピエントとの関係、など)、などの情報を取得します。
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 第一移植外科 責任者：渡井 至彦

試料・情報を利用する学外の者	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 第一移植外科 責任者：渡井 至彦
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2027年3月31日までに郵送、電話等）により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 外科学講座（腎移植外科） 担当者：（職名）准教授（特任） （氏名）安次嶺 聡 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 77493）